

## 腎臓移植連携

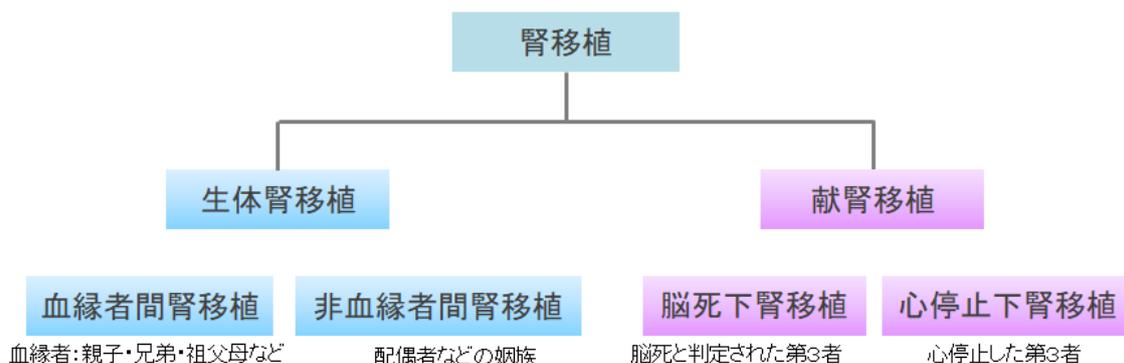
腎移植は末期腎不全と診断された後の「腎代替療法」の一つです。根本治療という点では唯一の方法となります。

生体腎移植の場合は、ご家族や親族より腎提供を受けて行われますが、必ずしも透析導入後である必要はありません。

一方で、家族・親族に提供者がおられない場合は「献腎移植（けんじんいしょく）」を選択します。当院において臓器移植ネットワークに腎移植希望登録手続きを説明させていただきます。

腎移植をお考えの方は当院にご遠慮なくご相談ください。必要事項の説明、移植実施医療紹介、移植のために必要な検査を病診連携を含め実施させていただきます。

※既に他施設で透析を受けておられる方は基本的に通院中の施設でおたずねください。



## レシピエント（腎臓を提供していただく方）

慢性腎不全を患っているすべての方が対象となります。透析をすでに始められている方、これから透析を開始される予定の方も対象となります。

年齢や腎不全の原因となった病気（糖尿病など）の進行具合、透析年数によっては、手術が難しい場合もあります。また、悪性腫瘍や感染症がある場合は残念ながらすぐに移植手術は行えません。

患者さんそれぞれで身体状況は異なりますので、まずは遠慮なくご相談ください。

## ドナー（腎臓を提供される方）

生体腎移植の場合、親族に（6親等以内の血族と3親等以内の姻族）自分の腎臓の提供を希望される方がおられる場合には生体腎移植を行うことが可能です。移植施設の指示に従い改めて全身の精密検査を行い、腎臓提供が可能かの判断を行います。特に腎機能、悪性腫瘍の有無については念を入れて検査を行います。身内に腎臓提供候補者がいない

場合は日本臓器移植ネットワークへ登録して、臓器提供の意思表示がある亡くなられた方からの臓器提供を待つこととなります。当院へご遠慮なくご相談ください。

※既に当院で透析を受けておられる方は透析中に職員までお申し出ください。